

昨年秋に下見しておいた弥勒新道を経由して残雪期の高妻、乙妻の山頂を踏んできました。高妻から先の乙妻へ向かうヤセ尾根がどのような状況なのか情報少なくロープ、ハーネス持参で臨んだのですが短い懸垂下降を含め慎重な下降数ピッチありそこそ楽しむことができました。

両山頂ともさえぎるもののない展望のよさでしたが乙妻方面からかえりみた高妻はスクッと切り立った山容で格好よかったです。

[行動記録]

5/4 晴れ～うすぐもり

AM6 時茅野発-8 時牧場入口駐車場～8:15 発-弥勒新道-1600m 辺りよりとぎれとぎれに雪出始めてくれる。過去の記録に比し今年は雪少ないようだ。-11:40 五地蔵山-12:30 六弥勒と七薬師の間の広々とした鞍部にテンバ設営。時間がまだ早めであったが、結果的にこの先風避けれて安全なテンバとしては最適地であった。又、しばらくして後立も雲で見えなくなりほんの一時だが小雪も舞い始めてくる。大気の状態不安定で午後から雷雨の可能性ありとの予報どうりの変化を示し早めの設営で正解であった。夜は風強かったが満天の星空となり明日の好天に期待大。

5/5 快晴

AM2:30 起床-4 時ヘッドラをつけ行動開始-最低鞍部から先の登りは結構の斜度で、かつこの春の低温傾向持続の為か雪面がしまっており確実なアイゼンワークが求められる。急斜面を登り切り一休みの後、傾斜の落ちた気持ちの良い雪稜をひと踏ん張りして5:12 高妻山頂。この先が今回の山行の核心部と読んでいた所。確かにヤセ尾根で左手は岩壁帯となり地獄谷側に切れ落ち、右手は雪壁となっている。最初の数 m は安全を期しロープをたらし懸垂下降で下りおり、その後バックステップでの慎重な下降を数回行い十一阿しゅくで危険なヤセ尾根帯は終了し、その先は広々とした気持ちの良い雪尾根をてくてくと行く感じで6:10 乙妻山頂。ゆっくりと眺めを楽しみ6:30 往路下山開始。雪面しまってくれてるおかげでヤセ尾根も登りの方が容易で7:08 高妻。広大な雪面の下降～トラバースはバックステップもまじえ慎重に処理。ここでの滑落は絶対に許されず過去にも事故のあった所と記憶している。ちなみに今回出会った登山者は昨日4名、本日0とGWとは思えないくらい少なく、雪も硬かった為トレース跡のステップもほとんどできていなかった。この連休中方々で滑落事故多発していたのもうなずける感じである。8:00 テンバ帰着。撤収後8:40 下山開始。弥勒新道上部は雪が出たり消えたりでアイゼンをつけたままでの下降で消耗す。11 時駐車場帰着。牟礼の天狗の館で汗を流し帰路についた。